

第2回 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年4月24日（木） 午前9時30分から午後3時45分まで
開 催 場 所	青葉区役所4階401～403会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 北島 洋美（日本体育大学） 委員 江口 一生（東京地方税理士会緑支部） 　　蕪木 泉（青葉区連合自治会長会） 　　島 美奈子（特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブパレット） 　　鈴木 智香子（認定特定非営利活動法人市民セクターよこはま） 　　中村 喜代枝（青葉区老人クラブ連合会） 　　平野 香菜（青葉区民生委員児童委員協議会） 　　武藤 恵江（特定非営利活動法人中途障害者活動センター青葉の風）</p> <p>【事務局】</p> <p>青葉区福祉保健センター担当部長 今井 健太郎 青葉区福祉保健課長 大崎 浩樹 青葉区福祉保健課事業企画担当係長 三原 和真 青葉区福祉保健課事業企画担当 丸山 真梨子、平方 遥子</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。）（傍聴者0人）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議の公開・非公開について 2 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募について <ol style="list-style-type: none"> (1) 審査までの流れ、採点の考え方、選定方法 (2) 応募団体に対するヒアリングの実施について 3 応募団体の面接審査及び指定候補者の選定、講評 <ol style="list-style-type: none"> (1) 荏田地域ケアプラザ <ol style="list-style-type: none"> ア プレゼンテーション イ 質疑応答 ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 エ 指定候補者の選定、講評 (2) もえぎ野地域ケアプラザ <ol style="list-style-type: none"> ア プレゼンテーション イ 質疑応答

	<p>ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>エ 指定候補者の選定、講評</p> <p>(3) さつきが丘地域ケアプラザ</p> <p>ア プレゼンテーション</p> <p>イ 質疑応答</p> <p>ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>エ 指定候補者の選定、講評</p> <p>(4) 美しが丘地域ケアプラザ</p> <p>ア プレゼンテーション</p> <p>イ 質疑応答</p> <p>ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <p>エ 指定候補者の選定、講評</p>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者及び次点候補者として、次のとおり、横浜市青葉区長に報告することとする。</p> <p>1 横浜市荏田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 次点候補者：なし</p> <p>2 横浜市もえぎ野地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人秀峰会 次点候補者：なし</p> <p>3 横浜市さつきが丘地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人みどり福祉会 次点候補者：なし</p> <p>4 横浜市美しが丘地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人緑成会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 会議の公開・非公開について (事務局) 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み)</p> <p>2 横浜市青葉区地域ケアプラザ指定管理者公募について (1) 審査までの流れ、採点の考え方、選定方法 (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。</p>

- ・1施設に対して1団体のみの応募となっている施設については、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。
- (2) 応募団体に対するヒアリングの実施について
- ・公募の結果各施設1団体から応募書類の提出があった旨を報告。
 - ・面接審査の流れを再確認。(第1回委員会で審議済み)
 - ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。
 - ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。

3 応募団体の面接審査及び指定候補者の選定、講評

- (1) 横浜市荏田地域ケアプラザ
- ア プレゼンテーション
- 団体から、団体の概要、事業計画等について説明
- イ 主な質疑応答
- (委員) 個別ケア会議、包括レベルのケア会議を広報紙に掲載して、地域に共有しているのが素晴らしい。気になった点は活動団体の資料のなかにインフォーマルがないと感じた点。インフォーマルな活動団体とはどうつながっているか。
- (団体) 企業も含めてNPOとも連携をとっている。地域ケア会議の参加者は、地域の方だけではなく、荏田エリアの公共施設、郵便局、介護保険関係施設、薬局、病院、地域の商店等地域にある団体が対象。また、各団体の事業者定例会に地域ケアプラザも参加し、取組や課題の共有等情報交換を行い、地域と共に取組を行っている。
- (委員) 提案書類の収支予算書のうち団体本部経費の計上について、経費の内容と金額の積算根拠を確認したい。
- (団体) システム費用等。運営している17施設で按分して計上している。
- (委員) 職員配置方法について、本部の支援を受けて人材確保ということだが、実績としては欠員が見られる。今後の職員配置の考えを確認したい。
- (団体) 非常勤の介護支援専門員へ主任介護支援専門員の資格取得に向け支援を行う、就職相談会を行い、地域ケアプラザで働くことの魅力発信を行う等している。
- (委員) 災害等に備えるための取組について、感染症に関する取組を確認したい。
- (団体) 災害事件事故対応マニュアルを整備している。感染症についても初動対応をどうするか等のマニュアルを整え、訓練も行っている。新しい情報についてはマニュアルを更新して研修も進めている。

(委員) 子育て支援について、外国の方が多くいらっしゃるが、どういった対応をするか。

(団体) 外国の方が事業に参加される機会を捉えて支援していくことが一つの形と考えている。

ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

- ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。
- ・事務局より前期実績報告書について説明。
- ・江口委員より財務分析結果報告書について説明。

エ 指定候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点（基準点）
指定候補者	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	1,372／2,010 点	1,315 (1,098) 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・様々な団体等と連携しているのが素晴らしい。不登校の子がいる場合もあるため、学校機関との連携もあればなお良い。
- ・地域ケア会議に、商店街、公共施設等が入るのは素晴らしい。そこに学校関係、学童保育等入るとなお良い。地域ケア会議では、各団体の幹部が参加する場合があるため、現場の人たちもしっかりと対応できるよう取り組んでいてほしい。
- ・初めての相談をどう地域ケアプラザに繋げられるかが1番のポイントであるため、表の作り方を工夫すれば、立地が相談件数に影響しているのか等もっと分析できてよいのでは。
- ・父親を対象とした「ぱぱぴよ」という事業は、土曜日の開催なので参加しやすくて良い。
- ・地域課題・特徴について、「山・坂が多い」等、具体的に考えていて良い。それをベースにして計画をたてているのが、地域の特徴を捉えた企画だと思った。
- ・BCPネットワーク会議について、他の法人と協力するのは難しいと思うが、しっかり地域と繋がっており、何かあった時に協力体制を取ろうと言い合っていることが素晴らしい。
- ・子育て支援の分野について、小さな活動からやっていきたいという点に共感した。外国の方は、子育てに限らず、文化の違いや価値観の違いに悩んでいる。そういう点にもう少しフォーカスしてもらえたなら。今後考えていってほしい。

応募団体の得点は最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。

(2) 横浜市もえぎ野地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 提案書類の収支予算書について、本部団体経費の計上がないが、かからないということでよいか。また、3年目以降で収支増（指定管理料ではなく介護事業について）になっているがどの点か。

(団体) 各地域ケアプラザでは計上していない。また、介護事業の収支については、通所介護と居宅介護支援で、長年当法人で行っている事業であるため、通常通りの運営を行い3年でプラスになるとを考えている。

(委員) エリアの高齢者の方は手厚いケアを受けられると感じた。地域ケア会議について、高齢者個人に対する支援の充実など記載があるが、困窮家庭には子ども、家族丸ごとケアが必要となると思う。地域ケア会議は地域ケアプラザがまとめる大事な会議となるが、その点はどう考えるか。

(団体) 地域ケアプラザは子どもから高齢者、障害者の支援を行う施設であるため、近年は小中学校とも連携を行っており、子どもと関わる業務が増えている。もえぎ野地域ケアプラザに関しては、学校運営協議会への参加がまだないということであったため、当法人では、学校にも相談の上加えていただき、子どもたちにアプローチしていきたいと考えている。子どもへのアプローチから現役世代（親）へのアプローチにもつなげていきたい。

(委員) 多世代交流についてはどう考えるか。

(団体) 多世代交流は地域ケアプラザとして大きなテーマと考えている。実施していることとして、例えば高齢者の折紙作りから、作品を保育園にプレゼントする等高齢者と園児を繋げ、子どもたちから「寸劇をやるから地域の人に来てほしい」という声があがってくるなど多世代交流の機会を広げていきたいと考えている。他には、小学校で認知症サポート養成講座を実施し、認知症への理解を深めていき、支えることのできる存在になってもらえた。高校生になると支援される側から支援する側になる比率が高くなる。子ども食堂や学習支援等で、学習指導を担ってもらう等考えている。

(委員) 障害児者に対してはどう考えるか。

(団体) 地域ケアプラザとして重要なのは、日頃から基幹相談支援センター、

区役所、区社会福祉協議会等と密に関係性を作り、適切な機関に繋げることを考えている。エリアにあおば支援学校があるため、連携していきたい。また、作業所で小物を制作している所も多いと思うが、販売ニーズがないかも探っていきたい。法人としては、障害がある方、ではなく地域にお住いのある方には障害があるから配慮が必要、という関わり方で支援している。子ども食堂に地域に住んでいる様々な方が参加するインクルーシブな活動が理想と考えている。また、障害児者の方には、家族への支援も重要なので、その点についても関係機関と連携したい。

(委員) 人員配置について。例えば保健師は法人内でも多く雇用されているようだが、地域ケアプラザの配置に対して困らない人数だと考えているのか、厳しいものがあるのか等感覚的なところでいいので教えてほしい。

(団体) 人材不足が社会問題であるため、当法人も資格職を多く雇用しているとは言え人員が余っているという状況ではなく、欠員は無いとは言い切れない。欠員理由としては、定年退職、産育休が多く、一時的に欠員はどうしても発生するが、異動による補充等で対応していきたい。ただ、地域ケアプラザは特にコミュニケーション能力も求められるため、よりコミュニケーション能力が高い人を配置したいと考えている。

(委員) 併設の老人福祉センターとの連携についてどう考えているか。

(団体) 青葉区は平均寿命が高い。年齢を重ねるとともに日常生活動作が落ちていくということは数値が表しているが、老人福祉センターとの併設という強みをいかし、利用者の介護予防にいち早くアプローチできると考えている。

ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

- ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。
- ・江口委員より財務分析結果報告書について説明。

エ 指定候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点（基準点）
指定候補者	社会福祉法人秀峰会	1,291／1,920 点	1,291 (1,098) 点
次点候補者	なし		

	<p>(審査講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分野について、しっかりと事業を実施してくれると感じた。縦横をつなぐこと、ネットワークについてもう少し触れてもらえたならなお良かった。 ・高齢者分野がとくに長けていると感じた。子育て分野や障害分野についても、力を入れてくれることを期待したい。 ・現指定管理者ではない団体ということで、指定されれば今後1年間で準備期間がある。そこをしっかりと使って、相談件数等数字で見えるところから、このエリアでの課題やそれに対する取組をどうしていくかを考えていってほしい。現指定管理者から全てを引き継がなくとも良く、是非新しい視点でやっていってほしい。指定管理者が変わるということころが、メリットとなっていくよう取り組んでほしい。 <p>応募団体の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人秀峰会を指定候補者として選定することを決定する。</p> <p>(3) 横浜市さつきが丘地域ケアプラザ</p> <p>ア 応募団体プレゼンテーション</p> <p>　団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>イ 主な質疑応答</p> <p>(委員) 提案書類の收支予算書について、本部団体経費の計上がないが、からならないということでよいか。</p> <p>(団体) 必要経費は指定管理料ではなく介護保険収入から支出と考えている。</p> <p>(委員) 障害分野の話が無かったため聞かせてほしい。</p> <p>(団体) 障がい者後見的支援室や生活支援センター、就労支援事業所等に対しだつきが丘秋祭りにて作品販売や安心キーパー養成講座の講師などを依頼している。専門的な部分は地域関係団体の方に協力していただけるよう計画している。</p> <p>(委員) 外国籍の方などの受け入れの際に留意している点や事業など考えているか。</p> <p>(団体) 法人内職員に外国籍の方や、技能実習生も在籍しており、事業の中では中国語の講座がある。これからは地域にお住まいの外国の方が相談できる体制・企画を考えていきたい。</p> <p>(委員) 人員配置について、どこも人材確保、資格者の確保が困難となっている状況があると思うが、具体的に有資格者の確保策はあるか。</p> <p>(団体) 主任介護支援専門員が昨年度開所以来初めて欠員となった。様々な求人媒体を使って募集しているのと、資格取得の受験費用を法人負担する等支援を行っている。</p> <p>(委員) 社会福祉士の実習生について記載がないが、文字数の関係か、または</p>
--	---

社会福祉士が忙しく、受入れに手が回らないのか状況を教えてほしい。

(団体) コロナ禍以降社会福祉士実習生の受入れ依頼がないため。依頼があれば対応可能。過去には実習受入れを行った実績はある。

ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明

- ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。
- ・事務局より前期実績報告書について説明。
- ・江口委員より財務分析結果報告書について説明。

エ 指定候補者の選定、講評

応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点（基準点）
指定候補者	社会福祉法人 みどり福祉会	1,340／1,950 点	1,309 (1,062) 点
次点候補者	なし		

(審査講評)

- ・財務が安定している団体であり、区内の複数の地域ケアプラザを運営しているため、可能な範囲で区内の地域ケアプラザをリードしていってほしい。
- ・常勤職員配置充足率が高い点も安心できる。堅実な運営を継続してほしい。
- ・プレゼンテーションで、障害分野に触れられていないことが残念だった。ビジョンなどを話していただければなお良かった。
- ・配付資料のあれこれガイドは良い取組だと感じたが、紙ベースのものは更新が大変である。更新状況を確認しなかったが、しっかり更新と関係機関への共有できているか確認が必要と感じた。
- ・子ども食堂について、その中から困り事や家庭を丁寧にひろい上げているという話があった。厨房設備がある地域ケアプラザの強みである。他の地域ケアプラザにも広がるようにアピールしていってほしい。また、大人も巻き込んでいくつてほしい。

応募団体の得点は最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人みどり福祉会を指定候補者として選定することを決定する。

(4) 横浜市美しが丘地域ケアプラザ

ア 応募団体プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

	<p>イ 主な質疑応答</p> <p>(委員) 具体的な事例をあげた、運営がよくわかるあたたかい内容だった。これから約5年間で、今までの課題等を踏まえて何をやるべきか等新しい目標はあるか。</p> <p>(団体) 担当地域は、移住して45年、50年と地域を発展させてきた方々が世代交代の時期である。そのため、担い手の新たな発掘や地域を作り直していく時期に来ていると考えている。これまで通りの運営が難しい団体や、若い方を意識してアプリなどの活用を必要と感じている団体もあるため、地域に伴走したい。</p> <p>(委員) 提案書類の収支予算書について、団体本部経費の計上がないが、本部の間接経費について現状の取り扱いを確認したい。</p> <p>(団体) 団体法部経費についてではないが、経費という点では、修繕費用が多くかかる点について計画を立ててすすめている。人員確保等についても、満足度が高く働くような魅力発信をしている。</p> <p>(委員) 収支予算書の3年目からマイナス予算になっている。修繕費用とも考えられるが、理由はあるか。</p> <p>(団体) 主に人件費と考えられる。また、通所介護の収入が厳しい状況が続いている。収支予算書としてはこのように計画されているが、プラスとなるよう努めたい。</p> <p>(委員) 職員の定着率が良い。どのような取組をされているのか。</p> <p>(団体) 職員が抱えている課題や悩んでいる様子があったら、積極的に声をかけて、話を聞くようしている。また、状況を各部門で抱えるのではなく、管理者レベルで把握している。直属だけでなく必要に応じて他部署の管理者も対応を行うなど、きめ細やかに対応をおこなっている。</p> <p>(委員) 親や小中学生とのつながりについて聞きたい。</p> <p>(団体) 「みんなの学習室」で、広い世代で関わる機会がある。また、事業等でも妊娠期、乳幼児期、小・中学生等の子どもの出入りが多いと考えている。</p> <p>(委員) 事業計画内容がとても素晴らしい。追加の配布物もなく、説明も分かりやすく非常に良いプレゼンテーションだった。団体の財務状況も意識して取組を引き続き進めていただきたい。</p> <p>ウ 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 ・事務局より前期実績報告書について説明。 ・江口委員より財務分析結果報告書について説明。 <p>エ 指定候補者の選定、講評</p>
--	---

	応募者から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募団体</th> <th>評価得点／満点</th> <th>最低制限基準得点（基準点）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定候補者</td> <td>社会福祉法人 緑成会</td> <td>1,307／1,950 点</td> <td>1,284 (1,062) 点</td> </tr> <tr> <td>次点候補者</td> <td>なし</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点（基準点）	指定候補者	社会福祉法人 緑成会	1,307／1,950 点	1,284 (1,062) 点	次点候補者	なし		
	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準得点（基準点）												
指定候補者	社会福祉法人 緑成会	1,307／1,950 点	1,284 (1,062) 点												
次点候補者	なし														
	(審査講評)														
	<ul style="list-style-type: none"> ・収支や人員確保について、団体として課題と考えられている点については法人をあげて改善していってほしい。 ・事業計画やプレゼンテーションについて、具体的であり、今必要なことをしっかりと行っているとよくわかるものだった。 														
	応募団体の得点は最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人緑成会を指定候補者として選定することを決定する。														
資料 ・ 特記事項	<p><u>1 資料</u></p> <p>(1) 応募書類一式 (2) 採点表 (3) 前期の指定管理業務の実績報告書・事業実績評価結果（令和3年～5年度） (4) 財務状況に関する外部評価の結果 (5) 選定方法及び最低制限基準について（第1回選定委員会配布資料） (6) 応募法人に対するヒアリングの実施方法について（第1回選定委員会配布資料） (7) 第1回選定委員会議事録 (8) 第2回地域ケアプラザ指定管理者選定委員会の開催スケジュール</p> <p><u>2 特記事項</u></p> <p>特になし</p>														